



## 追手門学院大学

### 日本語教師養成プログラム

#### ○沿革と概要

追手門学院大学では 2006 年より日本語教師養成プログラムを開講しています。登録日本語教員の国家資格化に伴い、日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律に基づき、2021 年度までのカリキュラムについては平成 12 年報告に対応した日本語教員養成課程等の確認を、2022 年度以降のカリキュラムについては必須の教育内容 50 項目に対応した日本語教員養成課程等の確認を、2025 年度以降のカリキュラムについては登録実践研修機関・登録日本語教員養成機関の登録を受けています。養成機関の科目群を「養成コース」、実践研修機関の科目群を「研修コース」とし、あわせて「日本語教師養成プログラム」と呼んでいます。

#### ○受講資格・定員

文学部と国際文学部の学生の他、科目等履修生も受講することができます。「養成コース」と「研修コース」の両方を履修する他、「基礎試験」合格者については、「研修コース」のみの履修も可能です。

定員は 1 学年 20 名です。

#### ○課程修了要件

「養成コース」は必修科目 12 科目、選択必修 2 科目から、13 科目 26 単位を履修する必要があります。このうち、所定の 10 科目の単位を修得するか、「基礎試験」に合格すると、「研修コ

ース」は必修科目 2 科目 3 単位を履修する必要があります。

#### ○課程授業の一例

「養成コース」の科目は、日本語教師としての基礎的な知識を習得することを主な目的としています。ただし、その科目の中にも実践的な活動を取り入れています。例えば、「日本語教育入門」では、学内の留学生や現場で活躍する日本語教員へのインタビュー活動を通じて、学習者と接する機会や、修了後の進路を具体的にイメージできる機会を設けています。また、「日本語教授法」では日本語学校見学を行うなど、現場に触れることで自らの適性を見極め、「研修コース」で実施する教壇実習を具体的にイメージできるような取り組みも行っています。

#### ○教壇実習

教壇実習は、履修者が希望する進路に応じて、日本国内の日本語学校、海外の大学、そして外国人生徒を受け入れている「梓校」である大阪府立福井高校のいずれかから 1 か所を選択することができます。

履修者の多くは日本語学校で実習しますが、海外で日本語教育に従事したい学生は、海外の大学で教壇に立つことで、同じ母語を話す学習者が集まるクラス運営のメリット・デメリットを経験することができます。

また、教職課程を履修し、中学・高等学校の教員を目指す学生にとって、福井高校での実習は魅力的です。外国にルーツを持つ生徒への指導現場に身を置き、目指すべき教師像を具体化させることができます。



学生による実習風景

#### ○学習支援体制

日本語教師養成プログラムは、授業以外にも学内外に学びの機会を設けています。海外の日本語学習者とのオンライン交流会、交換留学生の日本語支援を行う「日本語パートナー」への参加、韓国の大学での日本語教育体験を実施しています。2025 年には、韓国の大学生を本学に迎える交流会、日本語学校の先生をお招きした講演会を実施しました。また、学内の留学生の宿題サポートや会話練習相手となる「にほんGOカフェ」を学内の Global Space に設置する企画を学生たちと考えており、2026 年からの本格始動を目指しています。



韓国の大学生との交流会  
→グループで日本と韓国のお菓子について共通点・相違点を話し合っています。

#### ○課程修了と進路

「養成コース」と「研修コース」、それぞれの修了時に修了証が発行され、卒業時に学位記とともに授与されます。また、教壇実習の様子をまとめた「実習報告書」も毎年発行しています。

在学中の履修生には、日本語学校からの説明会や採用情報、国際交流基金や国際協力機構の応募情報を共有し、学生が希望する進路に向けたサポートを行っています。

修了生には、日本語学校で教員として活躍している人、中学・高校の教員として外国ルーツの生徒の指導にあたっている人、またさらに学びを深めたいと大学院に進学した人がいます。もちろん、修了生の中には日本語教員にならない人もいます。卒業後すぐに日本語教員にならなくとも、日本語教師養成プログラムの履修を通じて培った知識とマインドを活かし、周囲の外国籍の方との共生を図り、必要に応じて文化の異なる人々に支援の手を差し伸べられる人材として、社会の様々な分野で活躍しています。

#### ○追手門学院大学の日本語教師養成プログラムについて知るには

追手門学院大学の日本語教師養成プログラムについて、履修科目や履修の注意点について知りたい場合は、STUDY GUIDE をご覧ください。

<https://www.otemon.ac.jp/education/teaching/study/letters.php#a-link04>

さらに詳細について知りたい場合は、教務課文学部担当 (letters@otemon.ac.jp) までお問い合わせください。

